

文化財 IPM 実践のための研修会

各 位

- 主催 公益財団法人 文化財虫菌害研究所
- 共催 一般財団法人 環境文化創造研究所
- 時期 令和元年 11 月 7 日（木）、8 日（金）
- 会場 新宿歴史博物館
（東京都新宿区四谷三栄町 12-16）
◇JR・東京メトロ丸ノ内線・南北線
「四ツ谷駅」下車 出口 2 より徒歩 10 分
◇東京メトロ丸ノ内線
「四谷三丁目駅」下車 出口 4 より徒歩 8 分
◇都営地下鉄新宿線
「曙橋駅」下車 A-4 出口より徒歩 8 分
- 対象 一般の文化財保存管理者をはじめ、博物館・美術館・図書館・資料館・文書館等において展示・収蔵品や資料等の保存管理する担当者、文化財に関する生物被害防除企業の方（文化財虫菌害防除作業主任者、文化財 IPM コーディネータを含む。）
- 定員 30 名
受講希望者が定員を超える場合に人数調整をお願いすることがありますので、一団体から 2 名以上希望する場合は、予め優先順位を決めて希望書を提出してください。
- 受講料 20,000 円
当研究所維持会員 18,000 円（団体会員所属役職員も含まれます。）
- 申込方法 令和元年 9 月 25 日（水）まで（厳守）
「受講希望書」を FAX で送信してください。希望書をお送りいただいた中から当研究所で受講者を決定し、10 月中旬までに受講の申込み方法等を通知します。なお、今回受講していただくことができない方にもその旨を通知します。

公益財団法人 文化財虫菌害研究所
理事長 三浦 定佳



令和元年度「文化財 IPM 実践のための研修会」開催について

当研究所の定例事業として開催しております標記研修会を、次のとおり実施することになりました。

本研修は、文化財 IPM を実践する上で必要な環境把握や対処法の実演と実習、IPM をすすめていくための関係者相互の役割分担や協力体制、それらに関する疑問や問題点について研究成果と豊かな経験をお持ちの講師を招いて講義と意見交換の時間を十分に組み込んだ研修会です。

IPM コーディネータ有資格者に限らず、一般の文化財保存管理者をはじめ、博物館・美術館・図書館・資料館・文書館等において展示・収蔵品や資料等の保存管理する担当者の方、文化財に関する生物被害防除業務に携わる方、文化財 IPM に関心をお持ちの方などのご参加をお待ちしております。

11月7日 (木)

10:30~10:45 ガイダンス

10:45~12:00 目視による施設調査
— 施設をよくある問題点とその効果的な点検とは —

公益財団法人文化財虫菌害研究所 理事長 三浦 定俊

IPMの調査は虫のトラップ調査やカビ調査だけではなく、虫や水が建物に侵入する隙間がないか、壁に結露が見られないかなど目視で点検し、施設の問題点を見つけ、早めに対処することが大切です。自分の館はどこに着目して施設を調べたらよいか、問題点を効果的に発見するためのチェックシートの作り方を考え、館内を見学し施設にあったチェックシートを作成します。

★実習
館内見学に基づくチェックシートの作り方
新宿歴史博物館にあったチェックシート作り
(2日目も使用)

12:00~13:00 昼休み

13:00~13:30 一歩進んだ温湿度調査
— 温湿度の正しい測定方法と記録の持つ豊かな情報を活かす —

公益財団法人文化財虫菌害研究所 理事長 三浦 定俊

温湿度を測定するときは、何を知りたいか測定の目的をはっきりさせ、目的に合った測定器と測定場所を選ぶ必要があります。ここでは各種の温湿度計の使用方法を学び、測定したデータから何をどこまで読み取り、推測できるかを考えます。

★実習
温湿度測定器の解説と取り扱い

13:30~13:40 休憩

13:40~15:10 虫とカビの観察の仕方
— 生物の特徴をつかみ、生物の情報を知る —

公益財団法人文化財虫菌害研究所 研究員 岩田 泰幸

施設で見かける生物が全て文化財に被害するわけではありません。ここでは顕微鏡を使って虫を観察し、スケッチをすることで特徴を知りましょう。またカビは、綿棒によるカビ採取法を実践し、培養したカビを観察し特徴を学びましょう。

★実習
顕微鏡による虫・カビの観察
虫のスケッチ
綿棒によるカビの採取

15:10~17:00 情報交換

進行 公益財団法人文化財虫菌害研究所 理事長 三浦 定俊

それぞれの施設の文化財 IPM 業務の実施状況や取り組みについて紹介し、IPM を進めて行く上での問題点や課題について、IPM 業務に携わる様々な立場の方々との情報交換をします。問題解決や新たな提案につながるきっかけを作りましょう。

11月8日 (金)

10:00~12:00 ①施設における目視調査法
— 専門技術者の調査のポイント —

★実習 チェックシートによる環境の把握

② IPM メンテナンス

★実習 日常的な清掃と道具の使い方

一般財団法人環境文化創造研究所 主席研究員 川越 和四

①文化財 IPM を行う上で、現場の状況や保存環境の変化、虫菌害の有無などに気がつくことが大切です。1日目に作成したチェックシートについて意見交換し、調査の際に見るポイントや状況のとりえ方を学びます。
②IPM メンテナンスでは、メンテナンスの一つである清掃を例に、道具の紹介と使い方の実習します。

12:00~13:00 昼休み

13:00~14:00 IPM の年間計画の立て方
— 必要な仕事の明確化とその実施計画の立案による IPM の推進について —

君津市立久留里城址資料館 主査 布施 慶子
九州国立博物館 名誉館員 本田 光子
進行 公益財団法人文化財虫菌害研究所 理事長 三浦 定俊

IPM を円滑に進めて行くためには、実施する仕事の中身と量のある程度明確にする必要があり、これらの仕事をどの時期に何人ぐらいで、誰の指揮のもとで行うかなど、年間の計画を立てて作業を行うのが大切です。ここでは、IPM を導入して15年余りの積み重ねをもつ小規模館での実践例を参考に、規模や職員数が異なる館で、IPM を実行していくための計画の立て方について考えます。

14:00~14:10 休憩

14:10~16:30 意見交換
進行 公益財団法人文化財虫菌害研究所 理事長 三浦定俊

1日目の情報交換での課題を取り上げ、IPM を円滑に進めるための協力体制の作り上げ方、IPM 事業を外部委託する場合の注意点について、講師と受講生で意見交換を行いましょう。

16:30 閉講